

徳川恒孝著「講演録 江戸時代に築かれた日本の文明」月刊 世界と日本、No. 1246 内外ニュース 2014 年 11 月 1 日刊を読む

世界一の識字率と素晴らしい子供達

1. (1)教育の問題になりますが、全国で3万から4万の寺子屋があったと書かれていたのですが、実は最近読んだ本ではもう少し増えています。
(2)ただ、寺子屋は先生一代で終わっちゃうこともあるものですから、数が非常に増えちゃうことはあるのですが、読み書きの必要な社会、江戸時代は、どんな人でも読み書きができることが大変に必要な時代です。
2. (1)これはヨーロッパなんかの国と違いまして、いわゆるお役人の仕事の下請けは全部村役人、町役人など、お武家様以外の役人たちがやったのです。
(2)庄屋さんの下に村役人がいて、この人たちがどこでどれだけの米を植えて、獲れ高は何とかで、今年は去年に比べて、これだけお米の収穫があった、なかった。
(3)これを全部やるのは村役人です。村の人たちです。
(4)そこをグルッと回って、ちゃんとやっているかと言って見回っていくのがお武家様であります。
(5)ですから読み書き・ソロバンができることはお武家様だけではなくて、いわゆる官吏だけではなくて、それを下請けする村のお役人、町役人が事実上それを全部やっていたので、それができないとちょっとランクが下がっちゃうのです。
(6)そういうこともありますので、間違いなく世界一の識字率が江戸中期からずっと日本には続いていました。
3. (1)幕末になってたくさん外国人たちが入ってくるようになって、明治の初期までなのですが、いろんな婦人たちがくっついて入ってきて、日本の子供たちほど素晴らしい子供たちをみたことない、とみんな口を揃えてかきました。
(2)子供たちにキャンディーの1つとか何かを渡すと、それを受け取った子供は必ず母親のところに走って行って、これをもらったがもらっていいかと聞きに行く。お母さんがいいよと言うと駆け戻ってきて、ありがたうと言って受け取る。こんなにかわいい、しかも礼儀正しい子供たちはヨーロッパのどこを探してもいないのが、そのご婦人たちの驚きでありました。
(3)その彼女たちが日本の寺子屋に学校教育をみにいくと、そこでは今度は全く評価が逆転して、これは学校崩壊であるというのが彼女たちの印象でした。
4. (1)よくエッチングの絵なんかで皆さんご覧になると思うのですが、ヨーロッパの学校の先生は必ず鞭を持っています。

- (2)生徒たちは同じ方向を向いて座って、同じ教科書をやる。それでちょっとでもいたずらしているとピシッと鞭が行く。これがヨーロッパ型の学校です。
- (3)日本の寺子屋は全員共通の教科書なんていうものは全くありません。幕末のころで教科書に使われていた書籍の数が 4000 冊だったかな。というのですが、最初の「いろは」はみんな一緒です。
- (4)その次からは、魚屋の子供にはいろんな海の名前があったり、川の名前があったり、お魚の名前が出てくるのです。まさに彼が跡を継ぐ職業に合うような教育をしていくので、例えば 30 人子供がいて、炭屋の息子がいて、八百屋の息子がいて、魚屋の息子がいて、それぞれに与えられていく教科書が違うのです。
- (5)みんなが黒板のほうを向いて、同じテストをやって、半分から上ができる子で、半分から下ができない子みたいなことは一切ないのです。
- (6)子供たちは誠に自由奔放にやっていて、先生の肩に上ってくるのもいれば、ジーンと勉強ができるのもいる。
- (7)勉強ができる子は自分より 3 つ年上でもあんまり勉強できない子供に勉強を教えていたり、体が動き出してしょうがない子は 2 時間たったらその周りをグルッと走っておいでと。
- (8)走ってきて落ち着けば、また勉強すればいいという全く自由で、しかも一人ひとりのための教育があった。それをみた外国人のご婦人たちは日本の学校では学校崩壊が起こっていると。
- (9)彼女たちの印象ではビシーッと黒板のほうを向いて、全員が一緒に勉強する。で、できる子とできない子が出てくると。

5. (1)残念ながら日本も明治以降、それを取り入れましたので、果たしてそれが良かったのか悪かったのか私にはよくわかりません。
- (2)ただ、アメリカではうちの子供たちなんかみていますと、小学校の時代からどんどん飛び級をさせていきます。しかも科目ごとの飛び級もあります。
- (3)ですから、実はアメリカの学校のほうがはるかに個人の能力を伸ばす意味で、今の日本の教育より進んでいる。
- (4)この部分ができない子供は下のクラスでその部分だけ、何時間目だけやることもありますし、今、お話ししたのは小学校ですよ。
- (5)中学もそうなのだと思いますが、そういう意味で非常にフレキシビリティがあるのがアメリカの教育で、逆に全くなくなっちゃったのが日本の教育だと思って、どちらがいいのかといえ、私はフレキシビリティがあるほうがいいだろうと思っております。

P.54 ~ 60

[コメント]

江戸時代の寺子屋での学習の様子が生き生きと描かれていて、とても参考になる。徳川宗家十八代当主の徳川先生の講演速記録。

— 2014 年 10 月 29 日 林 明夫記 —